

# 公表

## 第 62 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

### はじめに

技術概要に準拠するため、左官職種競技はモジュール化されており、4つのモジュールにより構成されています。

各モジュールは個別に評価されるため、各モジュール終了時には完全に作業終了した状態にして下さい。  
あるモジュールでミスがあっても、別のモジュールでポイントが失われることはありません。

- ・第 62 回競技課題では、一部の寸法を競技 1 日目に変更いたします。
- ・各部の位置を示す非公表寸法は、競技 1 日目の課題説明の際、実施図面を配布する形で公表します。
- ・受付時間内（競技 1 日目,2 日目共）に競技選手本人が受付を行えなかった場合は、欠席とします。

### 1. 競技時間

標準時間	9 時間 20 分 ※休息时间含まれず		
	・モジュール 1 = 6 時間 20 分	打切時間	6 時間 30 分
	・モジュール 2 = 1 時間 00 分	打切時間	1 時間 10 分
	・モジュール 3 = 40 分	打切時間	50 分
	・モジュール 4 = 1 時間 20 分	打切時間	1 時間 30 分

### 2. 仕様（モジュール別、作業内容および指示事項）

別紙 1.2 のとおり

### 3. 注意事項

別紙 3 のとおり

### 4. 支給材料および部材

別紙 4 のとおり

### 5. 持参工具

別紙 5 のとおり

## 別紙 1

### 仕様（モジュール別、作業内容と説明）

#### モジュール 1

施工日：1 日目「11 月 23 日（土）」

施工時間：6 時間 20 分（8:50~12:00）（13:00~16:30）（午前、午後共に休息時間を各 10 分間取ること）

作業内容：・各種墨出し

- ・柱部の軽量鉄骨加工・組み立て、石膏ボード加工・取付け
- ・モルディング B 引き型鉄板加工、モルディング A・B 制作（石膏置引き）
- ・モルディング A・モルディング B（額縁）の切断・加工・取付け・補修
- ・厚塗り部（左上壁）の下端定木取付け、中塗り
- ・厚塗り部（左下壁）の下端定木取付け、下塗り
- ・厚塗り部（柱部）の中塗り
- ・薄塗り部の下塗り
- ・パテ部の仕上げ

- 作業説明：・中心墨、陸墨は各自で出す。陸墨は課題中心部の床から 1,000 mm 上がりの位置を基準とする。柱部制作に必要な墨（軽量鉄骨取付け墨、中塗り墨）及びモルディング A・B（額縁・曲線）は、中心墨、陸墨から追い出す。（モルディング B（曲線）外側の取付け墨は出さなくてよい）
- ・モルディング B（額縁・曲線）の接合部の取付け墨は出す。
  - ・柱部は、軽量鉄骨（ランナー、スタッド）を組み立て、石膏ボードを取付ける。
  - ・軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビスの間隔は、200 mm 以内とする。
  - ・モルディング B の引き型は、方眼紙と鉄板を用いて制作後、持参した木型に取付けて完成させる。A の引き型は、完成したものを持参してよい。
  - ・モルディング A・B は、焼石膏を用いて置引きで制作する。
  - ・置引きの下地に使用する発泡スチロール(1,820×910×10)は、支給する。発泡スチロールは、必要な場合使用してもよい（持ち込み不可）。
  - ・厚塗り部（左上壁）の中塗り及び、厚塗り部（左下壁）の下塗りは、モルディング A・B の取付けを行った後に行う。
  - ・厚塗り部（左上壁,左下壁）の左側の端部は、規定の寸法で下端定規を取り付ける。
  - ・厚塗り部（左上壁）の中塗りは、下こすりをして 2 回塗りを基準とする。また、ムラの無いように丁寧に塗り付け、木鏝で粗面にしておき、金鏝で頭を押え平らにする。
  - ・厚塗り部（左下壁）の下塗りは、塗り付けた後に刷毛を引く。
  - ・厚塗り部（柱部）は、検定定規を使用して中塗りをする。また、出隅部分は面引き鏝（直径 6mm 丸面）で面取りをする。
  - ・薄塗り部の下塗りは、モルディング B（曲線）取付け墨を残して塗り付けた後に刷毛を引く。
  - ・パテ部は、パテ材を塗り付けた後に、サンドペーパーをかけて平らに仕上げる。
  - ・仕上がったモルディング A 及び B（額縁）は、切断加工し取付ける。接合部と切断小口は、補修する。
  - ・張り付けたモルディングと壁の間は、正面・側面共にすき間なく仕上げる。
  - ・置引きの引き型は、1 日目の作業終了後、すべて提出する。

## 別紙 2

### モジュール 2

施工日：2 日目「11 月 24 日（日）」

施工時間：1 時間（8:50~9:50）

作業内容：・厚塗り部（柱部）の上塗り（2~2.5mm 厚）  
・自由課題仕上げ

作業説明：・厚塗り部（柱部）は、吸水調整材塗布後、検定定規を使用して上塗り材を 2 回塗りし、水引き具合を見て鏝押さえ仕上げとする。出隅部分は面引き鏝（直径 6mm 丸面）を使用して面取りをする。  
・モールディング B（額縁）の内側は自由課題とし、各自持参した左官材料で仕上げる。  
なお、あらかじめ制作したものは持参不可とする。

### モジュール 3

本モジュールは、スピード競技となる。

施工日：2 日目「11 月 24 日（日）」

施工時間：40 分（10:10~10:50）

作業内容：・モールディング B（曲線）の切断・加工・取付け・補修

作業説明：・仕上がったモールディングを切断加工し墨に合わせて取付ける。  
接合部と切断小口は、補修する。  
・張り付けたモールディングと壁の間は、すき間なく仕上げる。

### モジュール 4

施工日：2 日目「11 月 24 日（日）」

施工時間：1 時間 20 分（11:10~12:30）

作業内容：・厚塗り部（左上壁）の上塗り（2~2.5mm 厚）  
・厚塗り部（左下壁）のちり塗り及び上塗り（9mm 厚）  
・薄塗り部の上塗り（2~2.5mm 厚）

作業説明：・厚塗り部（左下壁）のちり塗りは、ちり鏝を使用してちり塗り材を下こすりし、塗り幅を揃え 2 回塗りとする。上塗りは、上塗り材を 2 回塗りし、切り返し仕上げとする。  
・厚塗り部（左上壁）の上塗りは、木ごて又はスタイロフォーム（各自持参）仕上げとする。  
・薄塗り部は、上塗り材を 2 回塗りし鏝等で均等にパターン付けしたパターン仕上げとする。

## 別紙 3

### 注意事項

- 1 競技中、工具の貸し借り及び競技エリア外からのアドバイスは禁止する。
- 2 電源やバッテリーを使用する道具・工具等は、充電ドライバーのみ使用可とする。
- 3 安全規則を守る。ケガをした選手は、競技委員が協議を行い、対応を決定する。
- 4 休憩時間及び作業終了後は、速やかに参加票を係の者に提出する。
- 5 各モジュール終了時は、養生・定規等の取り外しを行い、完全に作業終了した状態とする。
- 6 各モジュールの作業内容以外の作業は不可とする。
- 7 作業台及び作業エリアは、常に整理整頓する。
- 8 置引きに使用するアルミ製定木・走り定木は、支給する。持ち込み不可。墨出し、その他に使用する定木は持ち込み可。(あらかじめ指定寸法を記入した定木及び加工した型の使用は、禁止)
- 9 ランナー・スタッドは、ビス止めとする。(使用するビスは各自持参)
- 10 モールディングと下端定木の張り付け材料は自由(ビス、タッカー併用可、有機接着剤は禁止)。
- 11 スタッド固定用のアングルピース、スペーサーは使用可(使用するときは各自持参)。
- 12 軽量鉄骨加工及び石膏ボード切断のカッター使用時は、安全のため切創防止手袋を着用する。
- 13 置引き作業時における引き型の洗水容器の容量は、最小限度にとどめる。
- 14 モジュール1・2・4で使用する塗り材料は、当日係員が支給する。
- 15 支給された吸水調整材(ハイフレックス)は、各自うすめ液を作り、塗布する。
- 16 時間超過や仕様誤り及び作業説明・注意事項に関して違反した場合は、減点する。
- 17 それぞれのモジュールに行う作業内容以外の作業を行った場合は、減点する。
- 18 石膏ボード切断・加工及び置引き等の作業は、備え付けの作業台を使用する。板の継ぎ足しは、モールディングB(曲線)の置引き・切断・加工を行うときのみ0.2㎡以内で使用可とする。  
(使用する板等は各自持参)
- 19 制作したモールディングの切断は、箱定木(留め型)の使用を可とする。指定寸法に合わせて、両側を切断できるように造った箱定木の使用は、禁止する。
- 20 脚立天端に乗っての作業は不可とする。

※競技課題に関する質問がある場合は、競技選手と指導者で相談し確認した上で、質問受付期間内に中央職業能力開発協会(JAVADA)迄お問い合わせください。

公 表 別紙 4

支給材料・部材

番号	品名	規格	数量	備考
1	鉄板	110 mm×60 mm×0.4mm	1 枚	引き型制作
2	方眼紙	A4 1 mm方眼	1 枚	引き型制作
3	焼石膏	吉野石膏 桜印 A 級 20 kg	2 袋	モールドイング制作
4	B ドライ	吉野石膏 (株) 中塗り	適量	厚塗り部 (左上壁), 柱部 中塗り
5	ハイフレックス	日本化成 (株)	適量	厚塗り部 (左上壁), 柱部 上塗り前 (原液)
6	村檜のしっくい	村檜石灰工業 (株)	適量	柱部 上塗り
7	村檜の現代しっくい (ソフト)	村檜石灰工業 (株)	適量	薄塗り部 上塗り
8	MK プラスター	村檜石灰工業 (株)	適量	薄塗り部 下塗り
9	けいそうファームコート内装	四国化成工業 (株) SK セレクトカラー 341	適量	厚塗り部 上塗り
10	タイガーF トップパテ	吉野石膏 (株)	適量	パテ仕上げ
11	ウチカベース	田川産業 (株)	適量	厚塗り部 (左下壁) 下塗り
12	神来 (既調合ちり塗り用土)	田川産業 (株)	適量	厚塗り部 ちり塗り
13	神来 (既調合中塗り土)	田川産業 (株)	適量	厚塗り部 上塗り
14	下端定木	フクビ化学工業 (株) 下端 L 10 10mm×30mm×2000 mm	1 本	厚塗り部 端部用
15	タイガーボード (ベベルボード)	吉野石膏 (株) 1,820 mm×455 mm×9.5 mm	1 枚	柱部制作
16	アルミ製定木	1,800 mm×60 mm×25 mm	2 本	置引き作業
17	走り定木	3,640 mm×36 mm×12 mm	1 本	置引き作業 その他
18	検定定木	1,820 mm×30 mm×6 mm	2 本	厚塗り部 中塗り・上塗り用
19	ランナー	ランナー65 (67mm×40mm) 長さ 300 mm	1 本	柱部軽量鉄骨材料
20	スタッド	スタッド 65 (65mm×45mm) 長さ 1,815 mm	2 本	柱部軽量鉄骨材料
21	発泡スチロール	1,820 mm×910 mm×10 mm	1 枚	置引き中込め用
22	取り舟	小	1 個	残土用容器
23	バケツ	18ℓ	3 個	プラスチック製
24	作業台	コンクリート型枠用塗装合板 1,800 mm×900 mm	1 台	置引き・各種作業用
25	置き台	1,800 mm×900 mm	1 台	モールドイング保管用
26	架台	ベベルボード 1,820 mm×1,820mm×9.5 mm	1 台	課題製作下地

別紙 5

第 62 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番号	品名	規格	数量	備考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	
2	工具箱	大きさは 1 m <sup>3</sup> 前後	1 個	
3	モールドイング張付け材		適量	有機接着剤不可
4	自由課題仕上げ材	左官材料	適量	
5	養生テープ	市販品	適量	
6	保護用手袋	切創防止手袋	1 枚	軽鉄・ボード切断時着用
7	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参すること
8	パテ、シーラー材保管容器	20前後容器	2 個	材料配布用
9	下端定木張付け材		適量	有機接着剤不可

※工具箱の大きさは 1 m<sup>3</sup>前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は、協議の上減点とする。